

令和 5 年度 第 2 回あま市スポーツ推進連絡会議における

意見と検討状況について

【意見交換】

各委員から出された、意見や提案等を以下のとおり箇条書きで示しました。

☆【テーマ】「インクルーシブスポーツ」の推進について

【各委員から出された意見や提案等】

- 1) 障がいがある方と健常者が交流を図るにはどのような仕組みがあるか。
- 2) 障がいがある方と触れ合う機会が少ないので、交流の場を増やすことが必要。
- 3) インクルーシブスポーツを推し進めるには、教育や啓発及び支援者が必要。
- 4) 小学校では、児童が車いすを体験している。
- 5) 障がい者スポーツに関して偏見や誤解があってはいけない。
- 6) オリンピックイヤーを活用した情報発信をすることが必要。
- 7) 交流の場は、モルックに限る必要はない。
- 8) 先進自治体に苦労話や広報活動を聞くことが必要。
- 9) あま市が先進市としてインクルーシブスポーツを推進していく覚悟が必要。
- 10) モルックは、素晴らしい競技なので色々な団体に周知することが必要。

☆【テーマ】「みる」「ささえる」スポーツの推進について

【各委員から出された意見や提案等】

- 1) 有名なスポーツ選手を招いたイベントを開催することが必要。
- 2) メダリスト等を身近でみることは、とても意義がある。
- 3) イベントを開催するには裏方（ボランティア）の力が必要。
- 4) ボランティアに関しても検討することが必要。
- 5) あま市内にプロスポーツの選手は、何人くらいいるか。
- 6) スポーツ観戦に無料招待することが必要。
- 7) 美和高校のボランティア活動を参考にすることが必要。
- 8) 「スポーツデイ」等を開催して選手を支えることも必要。

【意見集約】

各委員の方々から多くの貴重なご意見等をいただきました。それを、まとめてみると、「インクルーシブスポーツ」の推進については、障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、誰もが一緒にスポーツを楽しみながら交流を図れる仕組みが重要である。そのためには、先進自治体の取り組みについて、調査・研究していくことも必要である。また、障がいのある方と触れ合う機会が少なく感じられ、だれもが参加しやすい環境が大切な要素であることから、専門的な知識を持っている関係団体の協力が必要。

「みる」「ささえる」スポーツの推進については、プロスポーツ選手やオリンピック選手を身近にみることが出来るイベント等の開催は重要である。そのためには、本市ゆかりのある選手の把握及び協力いただける団体等の情報収集が重要である。また、選手を「ささえる」ことに関しては、応援・ボランティアの参加などを盛り込んだ事業展開をするよう関係団体の意見を取り入れながら、啓発にも力を注いでいくことが必要。

【検討状況】

☆インクルーシブスポーツを取り入れたイベントの開催

インクルーシブスポーツ推進として、あま市民デーにおいてモルック体験を令和6年3月24日（日）に名古屋市枇杷島スポーツセンターにて試行的に実施しました。

次年度の新規事業としまして、市民を対象とした「モルック体験会」を追加しました。また、同時にBMX体験会を開催することで、幅広い年齢の方に参加いただけるよう検討しました。

☆「みる」「ささえる」イベントの開催

「みる」「ささえる」スポーツの推進として、プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」にご協力いただき令和6年3月24日（日）に名古屋市枇杷島スポーツセンターにおいて、スポーツ観戦とあま市を盛り上げるイベントとして「あま市民デー」を実施しました。

また、次年度の新規事業としまして、パリオリンピック・パラリンピック大会が開催されることから、市役所や事業所及び店舗などにオリ・パラ大会に出場する地元ゆかりの選手の懸垂幕、横断幕、のぼり旗を設置して、まち全体で応援する市民応援事業を追加しました。